



産業情報支援センターの運営組織である(株)西条産業情報支援センター(愛称:サイクス)の各種情報をお知らせします。

今月は市内企業を紹介する「我が社の得意技」や「西条モノづくりカレンダー」についてお知らせします。

我が社の得意技 ⑩ 顧客ニーズに対応した柔軟な生産体制

越智機械工業(株) (丹原町田野上方)

得意技は顧客第一主義の生産体制

「積極的な投資により、多品種小ロットの生産体制を整えたことが自社の強みだと思います」と越智機械工業(株)・

関野邦夫社長は語る。

関野社長は2代目。越智機械工業は、先代の自社製品を作りたいとの思いから、巻き上げ機のメーカーを買収し、昭和38年に開業。兄弟企業である(株)越智鋳造所の鋳物機械

加工も手掛け、現在は機械加工・製缶・金型(複雑な形状の鋳造金型部品)製作の事業を行っている。

越智機械工業の社是は「顧客第一主義」。減速機などの小型量産品だけでなく、産業用機械の超大型部品なども柔軟に生産できる体制が特長だ。昨年にはCAD、CAM、CAIなどの三次元設計ソフトを導入し、さらに多品種小ロットの生産体制を強化している。

新しい時代を見据え着実に歩み続ける越智機械工業(外観)



新しい時代に向けた自社の取り組みを力強く話す関野社長

■社内の体制作りが鍵

越智機械工業では、柔軟な生産体制を構築・維持するため、様々な取り組みを行っている。その一つが社員全員が所持する業務カレンダーである。業務カレンダーの裏面

には、越智機械工業が定める品質方針・環境方針が明記されており、常に社員が方針を意識することができる。また、越智機械工業は何にでも対応する職人を養成するのではなく、設計やプログラム、管理など、部門ごとの専門的な社員を養成することで、安定した生産体制の維持に向け取り組んでいる。

「これからの時代、多品種小ロット生産のできる企業が生き残ると思います」越智機械工業が新しい時代に向け歩み続けている。

(レポーター:技術相談室アドバイザー 市原)



大型部品の製造に対応する越智機械工業の作業場

サイクスからの事業報告

西条モノづくりカレンダーを作成しました

西条のモノづくりを全国にPRし、次世代を担うモノづくり人材育成を応援することを目的に、西条モノづくり人材育成協議会(事務局: SICS)が「西条モノづくりカレンダー」を作成しました。売り上げの一部は、モノづくり競技大会で全国1位などの好成績を収めている東予高校のモノづくり課外活動の支援金として活用されます。

■規格・金額

A2サイズ企業名無し
1部250円(税込263円)
A2サイズ企業名有り
1部300円(税込315円)
※名入れの場合は50枚以上の受注生産となります。

■購入・問合せ

産業情報支援センター



西条モノづくりカレンダー